

[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2002年1月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 副会長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

◆ 年頭のごあいさつ ◆



財団法人 日本太鼓連盟
会 長 津 田 正

新年明けましておめでとうございます。当財団にとっては設立5年目の春を迎えます。昨年は、7月に新事務所に移転いたしました。会員を始めとする関係各位の皆様のご協力と日本財団のご支援により各種事業は軌道にのり、所期の成果をあげることが出来ました。

先ず、支部につきましては、北海道道央支部が開設し35支部となりました。日本太鼓の全国大会は順調に回を重ね、第3回総務大臣杯日本太鼓ジュニアコンクール（3月・長野県支部主管）、第2回日本太鼓障害者大会（6月・静岡県支部、富岳会主管）、第5回日本太鼓全国フェスティバル（9月・全九州太鼓連合、福岡県支部主管）は関係者の熱意と努力により円滑に行なわれ、日本太鼓チャリティコンサート（6月・東京）とともにこれらの大会は、日本太鼓の普及、発展に着実に結びつくものと期待しております。当財団主催の日本太鼓全国講習会は年3回（2月・栃木県支部主管、6月・長野県支部主管、11月・島根県支部主管）の開催が定着する一方、支部主催の講習会も5府県で開催されました。この結果受講生の増加とともに公認指導員、技術認定員の資格取得者数は、それぞれ235名、2055名になりました。海外公演に目を向けますと2000年に設置しました「太鼓ファンド」の趣旨に沿って、先ず、アメリ

カの拠点づくりを進めていくため、日米太鼓チームの交流を行いました。特に、財団になって初めてアメリカの太鼓チーム・サンフランシスコ太鼓道場が全国フェスティバルに出演し、日本の太鼓奏者と親善交流を図りました。また、2月にアフリカ、中近東3カ国、4月にはバルト3国、5月にはイギリス、アイルランドで太鼓演奏を行い日本文化の紹介と友好関係に努めて参りました。

2002年は、組織基盤がほぼ整備され、各種事業も軌道にのってきていることを踏まえ、さらに日本太鼓の普及、発展を図っていきます。そして国内外を問わず多くの太鼓愛好者を視野に入れ、積極的に事業を展開してまいります。ご承知のように今年4月から中学校で太鼓などの和楽器の音楽学習が始まります。すでに、支部宛に文書を通じ、それぞれの地域の教育委員会や学校に接触を図り、多くの中学生に太鼓を体験してもらうようお願いしております。

支部未開設の13府県については、引き続き関係者の協力を得て鋭意開設を目指しております。また、海外の拠点づくりの第一歩として、アメリカの支部開設を目指します。全国大会等定例の事業につきましては、前年以上の成果を挙げるため支部並びに団体との協調連携をさらに強め、前進してまいる所存であります。

日本の伝統的な芸術文化の一つとして位置づけられている日本太鼓は、昔から多くの人達によって支えられ普及してきております。先人の労に応え、さらに、社会的評価を高めていくためには、常に礼節等を重んじた活動が望まれます。また、元気のない今の時代に、日本太鼓が明るい話題を社会に提供していくことも大切です。

終わりに、皆様のますますのご健康、ご多幸、ご繁栄を心からご祈念申し上げ、新しい年を迎えてのご挨拶といたします。

日本太鼓と学校教育― ⑧

間近に迫ってきている中学校における太鼓をはじめとする和楽器教育の実施については、各支部、各団体において積極的に取り組んでいることと思います。過日、実施しました「学校における日本太鼓指導実績」のアンケート調査の回答は予想以上の数（1月7日時点で約500通・この詳細は会報4月号に掲載予定）で大変喜んでおります。既に各地の学校等で太鼓の指導が幅広く行なわれていることを実感いたしました。

今回のシリーズは視点を変えて、2団体から寄稿いただきました。一つは支部が学校教育の中でこの問題にどう取り組んでいるのか、そしてもう一つは太鼓指導を受けた生徒の率直な感想をそれぞれ紹介いたします。

●.....● よりよい太鼓の指導をめざして「ワークショップの実施」 ●.....●

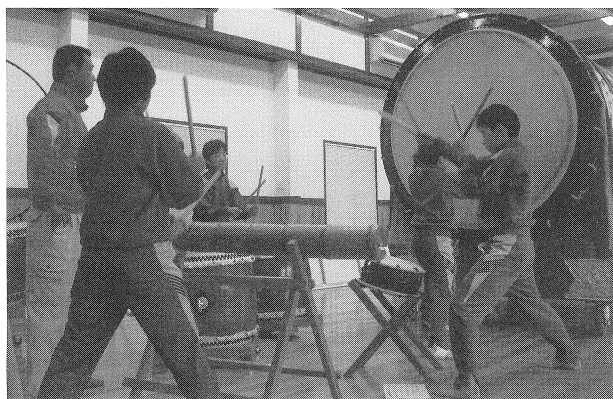
(財) 日本太鼓連盟岐阜県支部

いよいよ本年度から、中学生一人ひとりが在学中に必ず和楽器を学習することになりました。

岐阜県明宝村立明宝中学校では、2001年4月から音楽の授業で鷹墨太鼓保存会の和田正人（2級公認指導員）が、日本太鼓連盟の教本を使って指導しています。和田指導員は日本太鼓の演奏技術のほか、あいさつなどの礼儀や太鼓に対する心などを大切に指導しています。今、学校から日本太鼓の指導依頼が増えるなかで、中学生に何をどのように教えればよいのかと言うことが、地域指導者の悩みの一つになっています。

岐阜県支部事務局には、会員から「学校へ日本太鼓を教えに行っているが、子供たちにどのように教えたらよいかわからない。教え方について講習会をして欲しい。」「保存会の曲を指導しているが、少ない時間のなかで最低限教えるべき基本について学びたい。指導者として技術も高めたい。」などの声が聞こえてきました。また、学校や教育委員会等から、学校での日本太鼓の学習についての問い合わせも増えています。

そこで、服部事務局長を中心に役員と指導員が話し合い、地域指導者としての指導力や技術力を向上していくために、次のように「第1回日本太鼓ワークショップ」を開催しました。



(明宝中学校での太鼓指導)

＜ワークショップ実施内容＞

●日 時 2001年12月9日（日）9：30～15：00

●会 場 美並村立郡南中学校体育館

●参加者 66名

●講 師

(1) 基調講座（2時間）

①(財)浅野太鼓文化研究所 浅野理事長

②岐阜県支部 服部事務局長

(2) 実技指導（2時間）

和太鼓に関する知識実技研修(財団教本使用)

指導者 岐阜県支部所属の公認指導員

・全体指導 羽土 聡

・補助、特別指導 若山雷門、和田正人、
高島奈々、高島笑美

基調講座では、日本太鼓について造詣の深い浅野理事長から、太鼓の歴史・材質・製作・演奏などについて、講話をいただきました。また、服部事務局長からは、今回のワークショップの趣旨と今後の支部の在り方について説明がありました。

実技指導は、基本的な内容を重視する観点から、財団の講習会で教材として用いられている教本を使用し、財団が行なう技術認定員の4級・5級講座の内容で4回研修を実施することになりました。また、今後は年に2回、5月と11月に実施していく予定です。研修会が重なるにつれ、1回目のグループ、2回目のグループと研修内容の異なるグループが増えていくので、講師と会場の割り振りも課題となります。

県支部の桜井支部長をはじめ役員と公認指導員が手を取り合って、支部会員の指導力と技術の向上を図っていきます。また、子供たちに日本太鼓の演奏を通してわが国の伝統音楽に親しむことができるよう、ワークショップを充実していきたいと考えております。

全九州太鼓連合事務局長でおおむら太鼓連くじら太鼓の代表でもある田中俊己氏は、長崎県大村市立桜が原中学校の要請により、一人で1年生6クラスの240名に対して、2001年の6月から9月までの3ヶ月間、太鼓の演奏指導を行いました。このたび、田中氏より、教え子たちから指導の成果を発表した体育大会での演奏を終えての率直な感想文を送っていただきました。

「太鼓なんて、古くさい。」

私は、しょうがなくと言うより、いやいやながら太鼓を叩いていたが、練習すればするほど、手にはマメが、心には楽しさが生まれてきていた。そして、もうすぐ体育大会。

その時は、すっごく情けなくもあり、悔しくもあり、複雑な気持ちであった。ラストチャンスの第2回目のテストの時、思いっきり手を上げ、できる限りの事をした。その成果が出て《合格》。私はとってもうれしくて、泣きそうにさえた。それから休み時間などの空いた時間を見つけては、机を太鼓の代わりにして練習を重ねた。そんな私は、やる気に満ち溢れていた。私は今まで、こんなに一つのことに“尽くした”という覚えが無く、何か変な感じだった。いよいよ体育大会当日。太鼓を大事に両手で抱え、走った。私は、声を出し、手を上げ、元気良く、今までの成果を出そうと、思いっきり叩いた。終わるまでドキドキしていた。

終わって「ありがとうございました」と言うと保護者の方々から拍手が起こった。とてもうれしかった。その時、私の手には、汗がにじんでいた。それを見ていると、うれしさ、おどろき、悔しさ、それまでの、いろんな思いが押し寄せてきた。

太鼓が《私に何を教えてくれたのか》は、これからわかることだと思う。太鼓をやれて本当に良かった。太鼓と出会えたことに、心から“ありがとう”と言いたい。

最初に太鼓をやると聞いて「太鼓かあ～、早くやってみたい」と思った。僕は最初は、＜ただ叩くだけだから簡単だろう＞と甘く考えていた。しかし、やってみると、ただ叩くってだけのものじゃなかつ

そして、7月にオーディションが行われた。僕は、絶対に受かりたかったから、全力を出しきった。すると見事合格。これで体育大会の選抜組の可能性が出てきた。

夏休みに入り、ド忘れしないように、たびたび練習してみた。それがクセになって、気がつくと机や床を叩いていた。よく考えるとクセになったということは、それが身についたということだと思う。これで＜選抜組間違いなし＞、そう思った。けれど、二学期になって、総合で練習したとき、自分よりレベルの高い他のクラスや自分のクラスの人がいて、僕の夏休みの自信は、一気に崩れ去った。

太鼓実行委員長として、＜少しはうまくならないと＞というプレッシャーがのしかかってきた。そして最終オーデション。僕は精一杯の力をふりしぼった。しかし、ミスを連発し、二回受けた末、残念なことに落ちてしまった。結構ショックだったけど、＜本番にミスすることなく頑張ろう＞と思い、気持ちを切り替えた。

そして本番の体育大会。「一年生全員による太鼓演奏です」とアナウンスがあった。本番は練習よりミスがあり、納得いく内容でなかった。でも、最後まで止めずに叩けたのでよかった。田中先生の言葉どおり、＜将来、何かの役に立つことがあるといいなあ＞と思った。



(田中氏の指導風景)

各地で講習会を開催 技術認定員147名を認定

～第12回日本太鼓全国講習会(島根) 第9回日本太鼓支部講習会(秋田)～

<第12回日本太鼓全国講習会>

第12回日本太鼓全国講習会が11月24日(土)・25日(日)の両日、島根県支部が主管となり島根県大田市国立三瓶青年の家を利用して行なわれました。

講習会には地元島根県をはじめ、全国20都府県から150名の受講者が参加しました。

開講式には財団を代表して小野常務理事、主管団体である島根県支部から景山支部長の挨拶、続いて大田市熊谷市長より歓迎の言葉がありました。式の後、恒例の専門講座講師による模範演奏が行なわれ、熟練されたバチさばきに受講生は見入っていました。

午後からは、一流の講師による厳しい指導が行なわれ、受講生たちは、真剣な眼差しで太鼓に向かっていました。

翌2日目には、朝の集いから始まり、講座も順調に進みました。成果発表では3つの専門講座で技術を習得した受講生による演奏が行なわれ、その上達ぶりを披露しました。

閉講式では、海外出張から帰国したばかりの塩見副会長に続き、島根県支部から樋口副会長の挨拶があり、無事終了しました。

○専門講座

御諏訪太鼓講座	講師	小口大八氏
尾張新次郎太鼓講座	講師	安井 富氏
大太鼓講座	講師	山内強嗣氏

○基本講座

3級基本講座	講師	松枝明美氏
4級基本講座	講師	安江信寿氏
5級基本講座	講師	古屋邦夫氏 羽土 聡氏

◇技術認定員検定試験の結果は次の通りです。

1級検定	4名受験	2名合格(認定者0)
2級検定	17名受験	10名合格(4名認定)
3級検定	20名受験	18名認定
4級検定	8名受験	8名認定
5級検定	61名受験	61名認定



(尾張新次郎太鼓の模範演奏)

<第9回日本太鼓支部講習会>

第9回日本太鼓支部講習会が12月8日(土)・9日(日)の両日、秋田県仙北町ふれあいセンターを中心に行なわれました。

講座は、4級、5級講座が設けられ、雪が降りしき中、56人の受講生が参加しました。また、2002年度からの新学習指導要領に伴い、受講生の中には9名の学校教諭の姿が見受けられました。

○基本講座

4級基本講座	講師	松枝明美氏
5級基本講座	講師	古屋邦夫氏 鈴木孝喜氏

◇技術認定員検定試験の結果は次の通りです。

4級検定	17名受験	17名認定
5級検定	39名受験	39名認定

2,290名が資格を取得

2001年末の公認指導員・技術認定員の現在数は以下の通りです。

<公認指導員>

特別2名、	1級24名、	2級72名、
3級137名、	総数235名	

<技術認定員>

1級5名、	2級28名、	3級170名、
4級415名、	5級1437名、	総数2055名

第10回日本太鼓支部講習会(山梨県)の案内

日時	: 2002年1月26日(土)・27日(日)
会場	: 山梨県一宮町 ふれあい文化会館
講座	: 4級・5級基本講座
問合せ	: (財)日本太鼓連盟山梨県支部 一宮町役場 担当: 岩間 一仁 Tel. 0553-47-1111 Fax. 0553-47-1119

第3回日本太鼓全国障害者大会を開催

期 日 2002年1月20日(日) 開場 12:00 開演 13:00
 主 催 (財)日本太鼓連盟
 主 管 (財)日本太鼓連盟静岡県支部、社会福祉法人富岳会
 会 場 御殿場市民会館(静岡県御殿場市萩原183-1 Tel.0550-83-8000)

■出場団体(19団体)

大江戸助六流ろう者太鼓「鼓心会」(東京)、豊中ろう和太鼓「鼓響」(大阪)、龍姫太鼓(兵庫)、伊予三島いわくら太鼓ろうあ部会「鼓龍会」(愛媛)、新潟市ろうあ協会万代太鼓「豊龍会」(新潟)、石川県立ろう学校中学部「風神太鼓」(石川県)、富岳太鼓(静岡)、恵那のまつり太鼓(岐阜)、静岡県立静岡北養護学校「北龍会太鼓」(静岡)、わらしな学園「わらしな太鼓」(静岡)、仁寿太鼓(島根)、金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム(静岡)、希望の家「希望太鼓」(鳥取)、ファミリーユニット童鼓(岐阜)、一心太鼓(長崎)、静岡ハンディキャップ太鼓の会(静岡)、塩尻市障害者福祉センターすみれの丘すみれ太鼓(長野)、伊豆医療福祉センター「どんつく」(静岡)、ちんどん(長野)

第13回日本太鼓全国講習会(愛知)の案内

期 日 2002年2月23日(土)・24日(日)
 主 催 (財)日本太鼓連盟
 主 管 (財)日本太鼓連盟愛知県支部
 会 場 グリーンホテル三ヶ根(愛知県幡豆町)

専門講座

秩父屋台囃子講座(複式複打) ……高野 右吉氏(埼玉県)
 八丈太鼓講座(複式単打) ……菊池 修氏(東京都)
 締太鼓講座(単式単打) ……鈴木 孝喜氏(秋田県)

基本講座

3級基本講座 ……松枝 明美氏(長野県)
 4級基本講座 ……安江 信寿氏(石川県)
 5級基本講座 ……古屋 邦夫氏(長野県)
 羽土 聡氏(岐阜県)

受講料 大人10,000円(会員9,000円)
 小人 5,000円(会員4,500円)
 *高校生以上は大人になります

参加費 宿泊する場合 一律15,000円
 宿泊・食事4食・記念写真等
 宿泊しない場合 一律 5,000円
 食事2食・記念写真等

申込先 (財)日本太鼓連盟愛知県支部
 愛知県名古屋市港区船頭場4-363
 Tel.052-853-0051 Fax.052-853-0990

振込先 蟹江郵便局 口座番号 12120-6325091
 口座名 (財)日本太鼓連盟愛知県支部

第4回日本太鼓ジュニアコンクールに38団体が出場

■出場団体(出演順)

小城太鼓小天狗(佐賀)、越中いさみ太鼓(富山)、標葉せんだん太鼓(福島)、藤原若潮太鼓(岩手)、伊勢崎和太鼓(群馬)、松川響岳太鼓子供会(長野)、念珠関弁天太鼓(山形)、刈和野大綱太鼓(秋田)、雨鳴太鼓保存会(山梨)、天城連峰太鼓保存会(静岡)、岡原太鼓「飛翔」(熊本)、房州太鼓(千葉)、利府太鼓(宮城)、大越町和太鼓保存会(福島)、八ッ杉権現太鼓(福井)、竹下太鼓(福岡)、源流はさま太鼓(大分)、山陽高等学校(広島)、原町一小子供九曜太鼓(福島)、和紙の里和雅美太鼓(福島)、九谷太鼓保存会「雷仁」(石川)、越後見附太鼓(新潟)、荏原流れ太鼓ひびき会(東京)、追分いぶき太鼓(道央)、北海道釧路江南太鼓高等学校蝦夷太鼓部(道東)、五ヶ瀬太鼓「鼓魂」(宮崎)、夕張太鼓保存会「竜花」(道北)、山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島)、磨墨太鼓保存会(岐阜)、大和の響き「京」(京都)、日立風流太鼓「大蓮」(茨城)、磐梯明神太鼓(福島)、播磨新宮越部太鼓(兵庫)、高野右吉と秩父社中(埼玉)、掛合太鼓ジュニア(島根)、おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)、県立中央農業高校(神奈川)、岩舟武蔵太鼓(栃木)

期 日 2002年3月24日(日) 開場10:00 開演11:00
 主 催 (財)日本太鼓連盟
 主 管 (財)日本太鼓連盟福島県支部
 会 場 郡山ユラックス熱海(福島県郡山市)

● 第15回運営委員会を開催 ●

～2001年 12月12日(水)・東京～

【2001年度事業の実施報告と今後の予定】

「第4回日本太鼓ジュニアコンクールについて」

- 予選を実施した25支部の代表29団体並びに6推薦団体の計35団体の出場を決定した。また、推薦の無い支部にあっては、ジュニアに該当する団体が皆無とは理解し難いため、各運営委員が再度確認し、運営委員長に報告することとした。
- 出場団体の順番については、運営委員により厳正な抽選を行い決定した。
- ジュニアコンクールの翌日に行う特別講習会は、時間等の制約を考慮し、先着5団体までを対象とする。また、指導者のみの参加を認め、コンクール出場団体に案内する。

【2002年度事業について】

「2002年度助成金交付事業について」

- 助成金交付事業は日本財団の助成事業として行っており、2002年度は20事業の交付を申請しているが、昨年までの12事業から今年度は16事業に増加し、さらに4事業の増加申請となる。昨今の社会情勢を考えると20事業の承認は極めて厳しいと思われる。この点を考慮し、申請された18事業について審議を行なった結果、新規開設支部(道央)及び支部講習会、ジュニアコンクール、障害者事業を優先して12事業を承認した。また、残りの申請事業については、内容に否決する理由が無いことから、交付金承認の際に決定することとした。

「第6回日本太鼓全国フェスティバルについて」

- 今回から出場団体の選考方法を、県単位の推薦から運営委員会で選考することになり、結果として全国から10チーム、開催県から2チームを選出することとした。

【日本太鼓資格認定制度について】

「公認指導員の更新研修会欠席者に対する処置」

運営委員会の審議を経て、救済措置として公認指導員22名に対し特別更新研修会を行っているが、結果として15名が不参加となった。このため、この15名は資格を喪失することとなった。資格喪失者は以下の通り。

○ 1級公認指導員 (1名)

1-017・野崎悟氏(石川)

○ 2級公認指導員 (5名)

2-014・車屋正昭氏(福井)、2-025・鳴海昭仁氏(青森)、2-031・南松之氏(石川)、2-032・高野靖博氏(石川)、2-046・紺田勉氏(富山)

○ 3級公認指導員 (9名)

3-001・曾我孫治氏(岐阜)、3-004・反田勝美氏(島根)、3-013・三嶋利博氏(山形)、3-028・掘米成嘉氏(岩手)、3-039・横島勝彦氏(岩手)、3-046・日影和枝氏(岩手)、3-063・今泉善政氏(群馬)、3-093・金城一文氏(沖縄)、3-096・安井美絵氏(京都)

財団関係者が各賞を受賞

故吉田貴壽前理事が 勲三等旭日中綬章を受章

2001年10月2日(火)にご逝去された当財団の前理事吉田貴壽氏が、正五位勲三等旭日中綬章を受章されました。この章は、故吉田氏の長年にわたる音楽界へのご功績が認められたもので、太鼓界にとっても大きな喜びであります。

神奈川県支部が 安藤為次記念賞を受賞

2001年12月15日(土)神奈川県支部は、県内各地での太鼓演奏、振興活動が認められ、安藤為次記念賞を受賞しました。式典では島田支部長に記念賞が手渡されました。この受賞は太鼓界にとっても今後の大きな励みとなります。

塚原茂夫氏が 釧新郷土芸術賞を受賞

2001年11月23日(金)塚原茂夫氏(北海道くしろ蝦夷太鼓保存会)は、日本太鼓を通じた郷土の芸術振興、文化向上貢献が認められ、釧新郷土芸術特別賞を受賞しました。この受賞は太鼓関係者にとっても大変名誉なことでもあります。

日本太鼓が各地で関係団体に協力

memento mori 宮城2000

10月7日(日)宮城県仙台国際センターにおいて、日本財団主催による「memento mori 宮城2001」が開催されました。これは、限りある人生を自分らしく、より良く生きるために、各専門家の方々の講演を聞きながら、死を見つめ考えるという主旨のものです。記念演奏として宮城県のジュニアチーム「高倉ひこばえ太鼓」に演奏していただきました。

太鼓にあまり馴染みのない約1,000名の観客の前で素晴らしい演奏を披露し、大きな拍手が長い間鳴響いていました。



(高倉ひこばえ太鼓)

第16回賞金王決定戦競走

大阪の住之江競艇場で開催された第16回賞金王決定戦競走において、12月19日(水)、24日(祝)の2日間特設ステージにて太鼓演奏を行いました。厳しい寒さにもかかわらず、大勢の競艇ファンが集まる前で白熱したパチさばきを披露しました。演奏終了後、メンバーに観客が握手を求めるなど、大変な人気でした。

12月19日(水) ゆふいん源流太鼓(大分)

12月24日(祝) 太鼓集団天邪鬼(東京)



(ゆふいん源流太鼓)

第16回国民文化祭「ぐんま 2001」

11月4日(日)群馬県藤岡市みかほみらい館において国民文化祭行事「国民文化祭ぐんま2001」の一環として「全国太鼓フェスティバル」が開催されました。県内外より14団体、特別出演3団体が出演し、それぞれ地域の特性と工夫を凝らした個性豊かな演奏を披露しました。出演者たちの演奏に、観客が思わず声援を送る場面もあり、各チームの演奏が終了する度に感動の拍手が会場を埋め尽くしました。

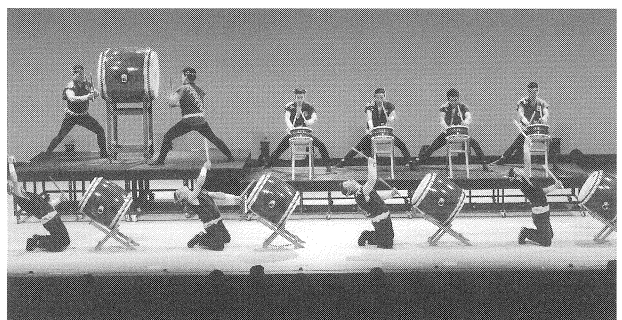
この熱気には、ご視察に見えた皇太子殿下も大変満足されたご様子で、太鼓演奏をご覧になっていました。

■出演団体

多野藤岡こども劇場、上州鬼石三杉太鼓、藤岡市民太鼓、高崎頼政太鼓、まむれ太鼓、上州藤岡上杉管領太鼓(以上群馬)、城南火の君太鼓(熊本)、早川太鼓(岡山)、境港市観光協会荒神神楽太鼓保存会(鳥取)、OTAICO座明神(福井)、みのり太鼓(茨城)、大治太鼓保存会(愛知)、大館曲げわっぱ太鼓太鼓組「忍」、川口初午南龍太鼓(埼玉)、御諏訪太鼓(長野)、ゆふいん源流太鼓(大分)、炎太鼓(石川)



(野外ステージ・藤岡市民太鼓)



(上州藤岡上杉管領太鼓)

事務局だより

北海道道央支部が開設、全国35支部に

財団法人日本太鼓連盟 北海道道央支部

橋本 光司支部長 (橋本流地獄和太鼓会代表)



札幌に初雪舞う2001年11月28日、念願の北海道道央支部の発足会を開催することが出来ました。長年に渡り、助言、励ましをいただきました多くの皆様に心よりお礼申し上げます。

早速支部旗を掲げさせていただきました際、連盟に仲間入りできた実感のひとつの喜び、士気高揚そして責任を改めて認識いたしました。北海道は歴史も浅く全てにおいて発展途上ですが、本州の諸先輩の胸を借り北海道らしく、そして新しい和太鼓文化の創造に向け、北の大地より熱い思いでいっぱいです。

今後とも全国の同志の皆様のお力添えをいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

◇加盟団体 (13団体)

橋本流地獄和太鼓会、石丸流札幌あさひ太鼓、山口流北海若衆太鼓、札幌平原天神太鼓保存会、風雪太鼓、札幌本陣太鼓、江別市見晴代鼓楽会豊太鼓、札幌新琴似太鼓保存会、新発寒ふるさと太鼓、追分いぶき太鼓、厚真魂打太鼓、ほむろい太鼓同好会、夕張太鼓保存会「竜花」

日韓国民交流年・日本太鼓公演のお知らせ

日韓両国が2002年を「日・韓国民交流年」として定め、オープニング事業として太鼓公演を実施することとなり、外務省より当財団に太鼓チームの派遣要請がありました。

このため、ゆふいん源流太鼓(大分県支部)を2002年1月13日から23日までの10日間にわたって派遣、ソウルをはじめ、済州島、釜山、光州の4都市にて公演を行います。

この事業は、日韓両国政府が行う公式事業として、双方の民俗芸能を両国国民に相互に紹介するもので、日韓両国民の親善に寄与することが期待されます。

各地のたより

●2002年 1月20日(日)

相模龍王太鼓保存会創立25周年チャリティコンサート (神奈川県相模原市)

<主 催> 相模龍王太鼓保存会創立25周年実行委員会 会場: 相模原市民会館

お問合せ: 清水春男氏 神奈川県座間市座間1-3341-2

Tel. 046-253-3538 Fax. 046-253-3538

●2002年 2月10日(日)

第11回桴の祭典 (埼玉県大里郡)

<主 催> (財)日本太鼓連盟埼玉県支部 会場: 川本町コミュニティーセンター

お問合せ: 井関君夫氏 埼玉県川口市上青木1-18-41

Tel. 048-252-6814 Fax. 048-255-6871

●2002年 2月22日(金)

2002かごしまの太鼓「薩摩の響」

<主 催> (財)日本太鼓連盟鹿児島県支部 会場: 鹿児島市民文化ホール

お問合せ: 五十嵐浩二氏 鹿児島県鹿児島郡桜島藤野1439 (桜島役場内)

Tel. 099-293-2345 Fax. 099-293-3744